

学科名 近代建築の遺産を訪ねて

テーマ 校外学習（同志社キャンパスツアー）

実施日 2026/1/14 AM10:30～

同志社今出川キャンパス良心館で全員集合。その後、3班に分散して、在学生ボランティアの方々にキャンパス内を案内して頂きました。今出川校地内にある建物の説明に耳を傾けその歴史を感じながら、キャンパス内を巡りました。



良心館の前で在学生ボランティアの方々の説明に耳を傾け  
これからの説明をうけているところ。

彰栄館；1884年竣工 →  
1979年5月重要文化財指定



↑ 同志社礼拝堂(チャペル)；1886年6月竣工。1963年7月に重要文化財に指定。  
日本にあるプロテスタントの煉瓦造りの礼拝堂としては現存最古。

↑ 洋風な外観ながら構造形式は純和風



←創立者 新島襄 1864年日本の将来を憂い脱国。約10年にわたり米国・欧州で学び、キリスト教の洗礼を受けて帰国。1875年11月29日京都の地に同志社英学校を設立。爾来約150年有余「一国の良心」たらんと願う人々がここで学び、多くの卒業生を世に送ってきた。

→ 山本覚馬(新島八重の兄)；元会津藩士。  
砲術家、明治期の地方官吏、政治家。

覚馬は維新後に購入していた旧薩摩藩邸の敷地を学校用地として新島に譲渡した。  
「同志社」は覚馬の命名によると言われている





← クラーク記念館；B.W.クラーク夫妻の若くして亡くなった息子(BSクラーク)の名前を冠し、息子を讃えるターレットを設置するという条件のもと、同ご夫妻より10000ドルの寄付金が寄せられ建設された。  
(余談：北大のクラーク博士とは無関係)

有終館；1887年同志社の最初の図書館として竣工。 →

1979年5月に重要文化財に指定

因みに、二代目図書館(現在の啓明館)が1920年に竣工  
その際に有終館に変更された。

現在、三代目図書館が西門門衛所横に建設中。



← ハリス理化学館；1890年7月竣工。JNハリスから10万ドルの寄付金を受け建築  
1979年5月に重要文化財に指定。



アーモスト館；1932年3月竣工。新島襄が学んだアーモスト大学の  
(手前建物) 建物を模してガーリス建築事務所が設計。

2005年6月に登録有形文化財に指定。

⇒



啓明館(向う側建物)：2代目図書館。ガーリス事務所設計。

現在は人文科学研究所、同志社社史資料センター、施設部が利用。

2007年7月に登録有形文化財に指定

そして、今出川キャンパス向い側にある室町キャンパスの寒梅館7階にあるFrench Restaurantでランチを頂きました。



← レストランから今出川キャンパス(良心館)を望む



案内頂いた在校生ボランティア  
に感謝致します。

余談；御所東側、寺町通沿いに新島襄旧邸がありました。

12月から2月までは閉館中ですが3月以降開館予定。

詳しくは、同志社社史資料センターホームページを参照下さい